

2012年度 高校入試

# 学校情報FLASH!!

CHAPTER. 3

(2011. 5. 18)

成基本部 学校情報室

## 2011入試総括 詳細分析

11入試総括資料に引き続き、今回は11入試の入試分析をお送りいたします。

☆°・《目次》 °..+☆°\*°..+☆°\*°..+☆°\*°..+☆°

- ・11入試概況
- ・京都公立高校 11入試概況（専門学科・Ⅱ類）
- ・滋賀公立高校 11入試概況（特色選抜・一般選抜）
- ・私立高校 11入試概況と公立志願者併願私立

☆°\*°..+☆°\*°..+☆°\*°..+☆°\*°..+☆°\*°..+☆°

## 11入試概況

2010入試は「公立無償化」によって、公立高校に人気集中し、私立高校の受験者数が大きく減少した年度でした。それに加えて、2011入試は「私立無償化（大阪府・京都府・兵庫県で実施、所得制限あり）」が高校入試に大きな影響を与えました。

つまり、公立はトップ高校が、私立は大学合格実績が高く面倒見の良い高校に人気集まりました。「とにかく公立一辺倒」という志望だけでなく、「中下位の公立よりは『面倒見の良い私立』『進路が明確な付属校』『大学指定校枠の豊富な学校』に行きたい」という志望も増えました。今年度は、公立・私立ともに人気校と不人気校にはっきり分かれ、私立も公立も選ばれる時代になったと言えます。

それでは、京都公立、滋賀公立、私立高校の順番で2011入試を振り返ります。

# 京都公立高校

まずは、京都の公立高校の入試結果をお伝えします。

## 【専門学科】

2月14日実施の適性検査の志願者総数は増加しました。

**堀川**・探究科は、10年度、検査科目が5教科になり受検者数は減少しました。11年度は受検者が戻りました。

**西京**は志願者の隔年現象が続いていて、11年度は減少のタイミングとなりました。**西京**は、年によって受検者数の変動が激しいので、注意が必要です。

**嵯峨野**・こすもす科は近年の志願者増加による難易度の上昇により3年連続で減少しました。しかし、表を見ておわかりいただける通り、変動はありますが、まだまだ高倍率の人気校であることに変わりはありません。

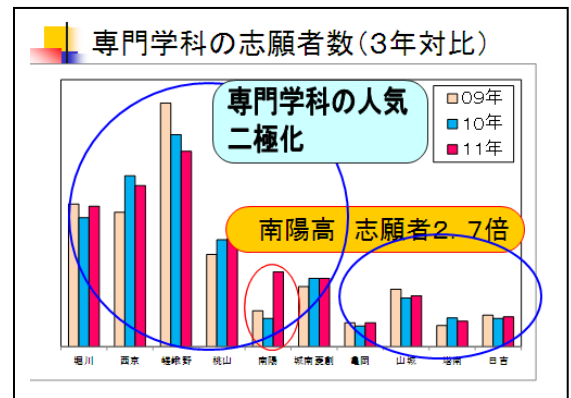
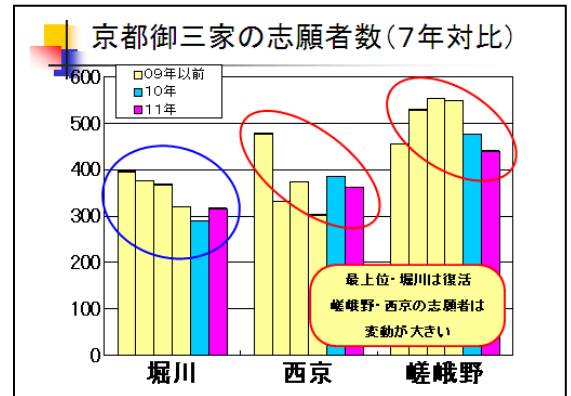
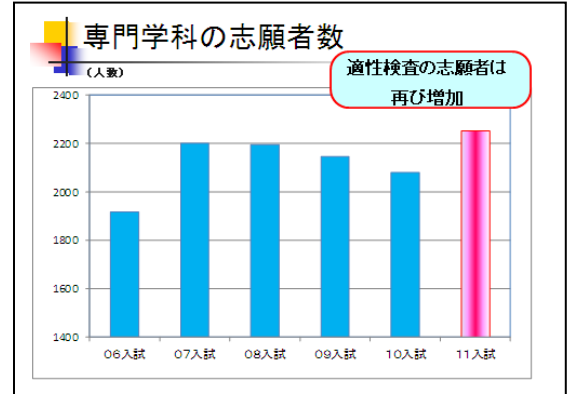
倍率が落ち着きつつあったトップ御三家も徐々に倍率低下に至っています。学区再編により受験生の選択肢が増えて行きたい学校を選べるようになったことで、受検者数が分散したことも原因として挙げられます。

御三家の他に、京都市域南通学圏の雄・**桃山**は堅い人気があります。

**城南菱創**は10年度に引き続き人気でした。

**南陽**は11年度、募集が40名1クラスから80名2クラスに増加したことで、志願者が増加しました。山城通学圏は、11年度は後述しますが、類型を廃止したことによって、難易度が予測しづらかったこともあり、専門学科志望者が増加したと考えられます。

右の表のように、専門学科は、志願者数が多い学校と少ない学校にはっきりと分かれています。この専門学科の人気は二極化している状況は、しばらく続くと思います。



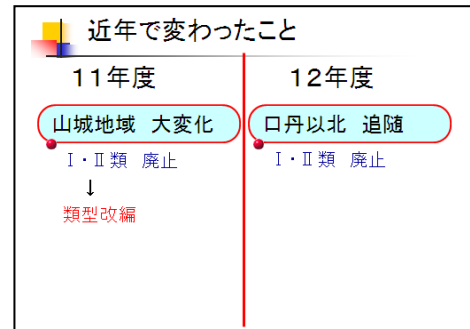
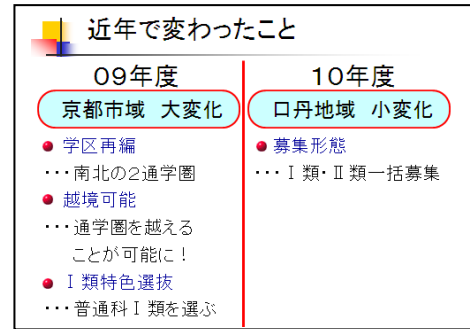
## 【普通科～山城通学圏/京都市北通学圏/京都市南通学圏～】

京都の公立高校は、変革の時期にあります。

09入試から、京都府公立高校の通学圏が京都市・乙訓地区の東西南北4通学圏から南北の2通学圏になりました。さらに、Ⅱ類Ⅰ類の入学者選抜で、今まで不可能だった通学圏を越えた受検が可能になりました。

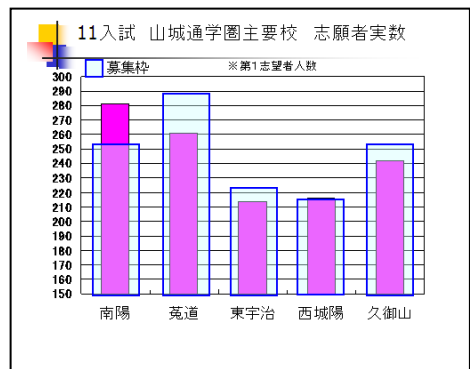
10入試は、口丹通学圏・中丹通学圏・丹後通学圏は募集形態が変わり、Ⅰ類とⅡ類一括募集を実施することとなりました。

さらに、11入試では、かねてからⅠ類とⅡ類一括募集していた山城通学圏が、類型を廃止しました。（※以下、普通科と表記）



### 【山城通学圏（普通科）】

それでは、山城通学圏の普通科の入学選抜結果はどうだったのでしょうか。右のグラフをご覧ください。ピンクの棒グラフが第一志望者数、青い棒が募集定員を表しています。南陽は、専門学科だけでなく普通科でも多くの志願者を集め、高い人気でした。一方、菟道や東宇治、久御山は第一志望者数で募集定員を割りました。ただし、他の高校を第一志望にした受検生がこれらの高校に合格・入学することがありますので、入学者数が定員を割ったという意味ではありません。また、来年度はこの反動で難化する可能性もありますので注意が必要です。

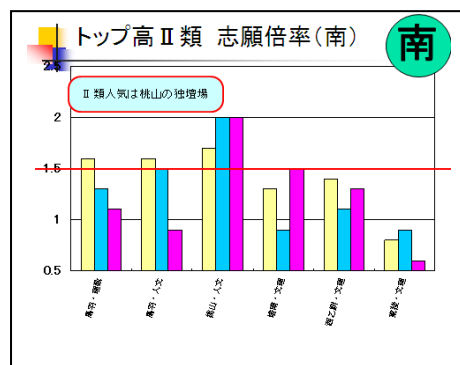
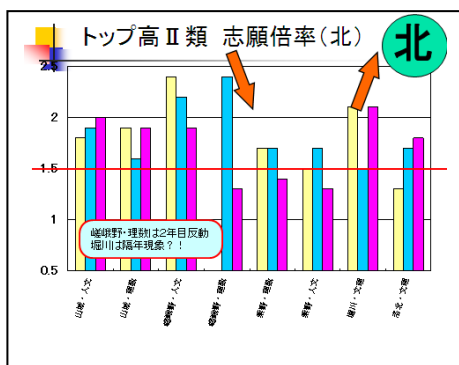


### 【京都市北通学圏・南通学圏（Ⅱ類）】

最後に、京都市・乙訓地区の北通学圏と南通学圏Ⅱ類の入学選抜結果を見てみましょう。

北通学圏で人気上昇したのは堀川です。嵯峨野は、昨年度理数系の自然科学コースが新設されて倍率が上昇しましたが、今年度は反動で減少しました。

南通学圏では桃山の志願者数は相変わらず志願者が多い結果となりました。



# 滋賀公立高校

今年度は湖南地域の中学3年生の総数が少し減少する学年でした。来年度は各地域で中学3年生が増加します。秋に発表される各公立高校の募集定員がどの程度増加するのか、それによって難易度が変化しますので、注意が必要です。

## 【特色選抜】

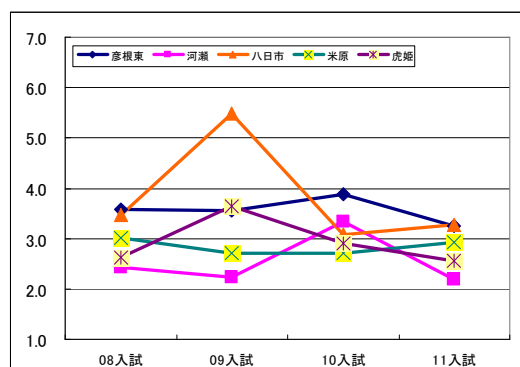
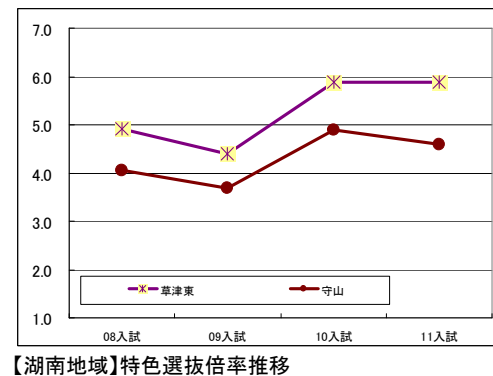
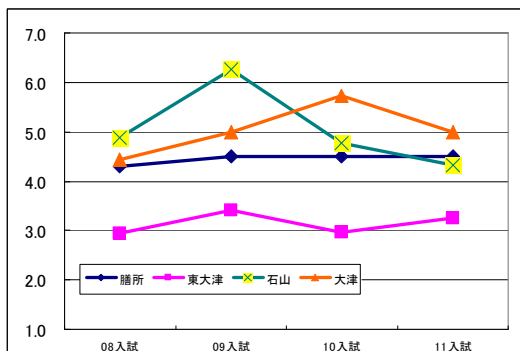
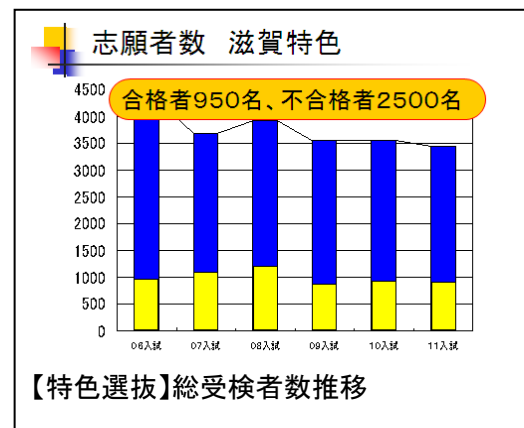
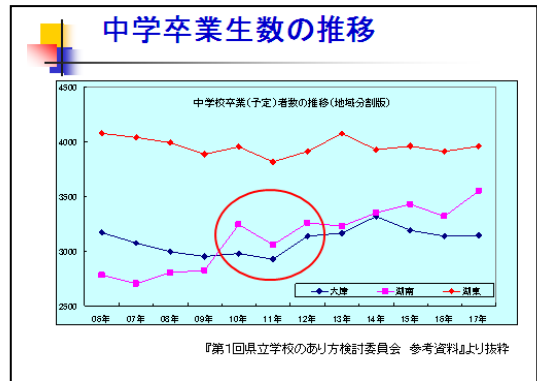
特色選抜の総志願者は昨年より微かに減少しました。右表のグラフの黄色の部分には合格者、青の部分には不合格者を表しています。特色選抜は、定員が少ないために倍率が高い入試です。

それでは、各地域の倍率変化を見てみましょう。下のグラフをご覧ください。

大津地域で石山の倍率が低下しているのは、特色選抜の募集割合が上昇して（総募集定員の25%→30%に変更）、特色選抜の募集定員が増えたためです。受検者数としても、昨年度よりも増加しています。

守山・草津東は、湖南地域の2校は5倍前後という高い倍率で推移しています。

湖東地域の倍率は、昨年度と大きな変化はなく比較的安定しています。



## ～特色選抜 総合問題～

ところで、「特色選抜で早めに合格が欲しい！難関高校を避けて受けるから、総合問題にそこまで対策はいらんんじゃない！？」と思っている方はいらっしゃいませんか？ちょっと待ってください！次ページの図は、特色選抜の総合問題で、どの高校がどの問題を出題したかを一覧表にしたものです。見ていただくとわかる通り、複数の学校で出題された問題が共通しています。総合問題Ⅱはまだ分散していると言えますが、総合問題Ⅰは多くの高校でほぼ同一の問題が出題されています。特色選抜の問題は、あらかじめ作成されたサンプル問題から、各高校が問題を選択して特色選抜の入試問題を作成する方式をとっていると思われます。もちろん全く同じ問題ではなく設問の数など細部では学校ごとに差があります。要するにここから言えることは、どこの学校を受けるにしても、同じくらいの難易度の問題を解かなくてはならないということです。ですから、しっかりと対策することが必要です。実際の問題は、各学校のホームページで見ることができますから、一度ご確認ください。

## 特色選抜の総合問題

総合Ⅰ	中西 進 「日本人の 忘れもの」	今谷 明 「近江から日本史を 読み直す」	布施 英利 「京都美術植民地入門」	中西 進 「美しい日本語 の発見」	アイツミナツ について の英文	1校だけの問題
膳所			1 漢字の歴史のみ		1日 ◎	1A 寺田東彦 「化石の進化」
石山			1 ◎		2 ◎	
東大津			1 ◎	2 ◎		
大津	1 ◎	2 ◎				
守山		1 ◎	2 ◎			
草津東		2 ◎		2 ◎		
八日市		1 ◎	2 ◎			
河瀬	1 ◎	2 ◎				
彦根東			2 ◎			1 吉岡省健 「漢字の歴史」
米原		1 ◎	2 ◎			
虎姫	2 ◎		1 ◎			
長浜北		2 ◎	1 ◎			

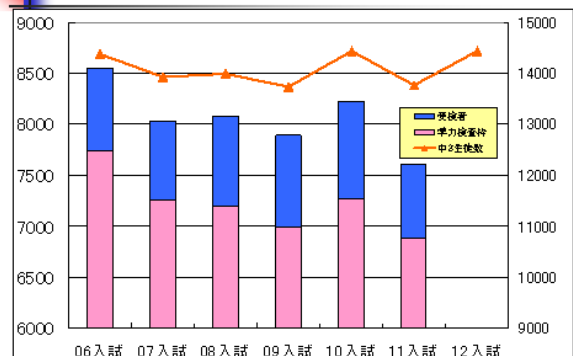
総合Ⅱ	科学部の 合宿から	ある川の 観察から	太陽・地球・月	びわ湖の 水について	伊吹山での 実験について	小惑星探査機 『はやぶさ』	1校だけの問題
膳所			2 ◎				1 鉄粉の発熱反応 2 太郎君の魚釣り
石山	1 ◎						
東大津		2 ◎	1 十二酸化炭素				
大津	2 ◎	1 ◎					
守山	1 ◎		2 十二酸化炭素				
草津東	2 ◎					1 ◎	
八日市		2 ◎					1 水生生物の観察
河瀬					1 ◎	2 ◎	
彦根東		1 ◎		2 ◎			
米原	1 ◎		2 ◎				
虎姫				1 ◎	2 ◎		
長浜北	2 ◎					1 ◎	

## 【一般選抜】

右表の一番上の折れ線グラフ（目盛りは右側）は、滋賀県の中3生徒数の推移を示しています（12入試は人口統計からの推移）。こちらを見ると11年度は、生徒数の少ない年度であったことがわかります。このため、11年度の募集枠は12クラス（480名）減少しました。

棒グラフ（目盛りは左側）は一般選抜での学力検査枠を示していますが、2月に実施される特色選抜での定員枠が拡大している影響で徐々に低下していることがわかります。

## 志願者数 一般選抜

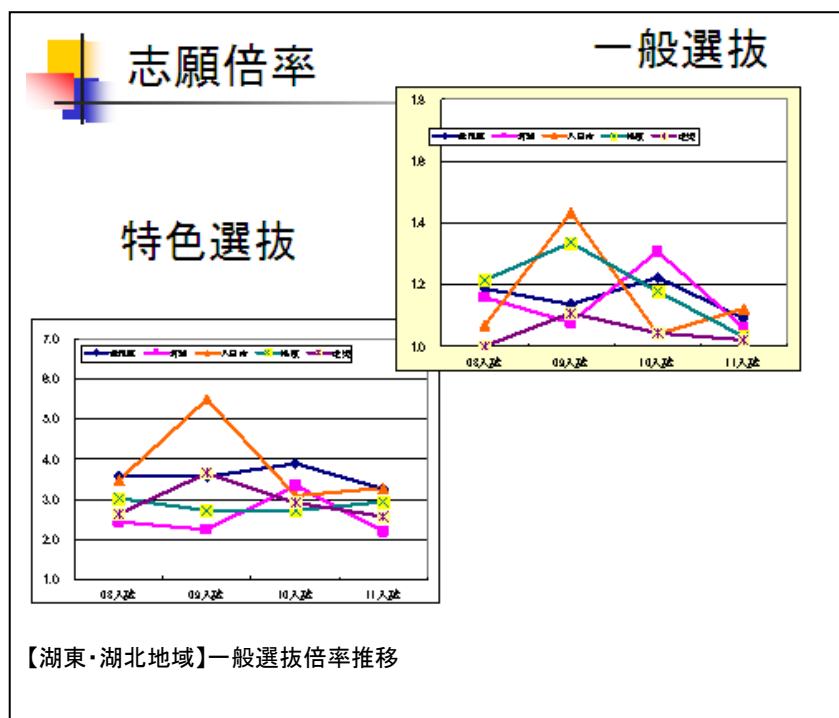
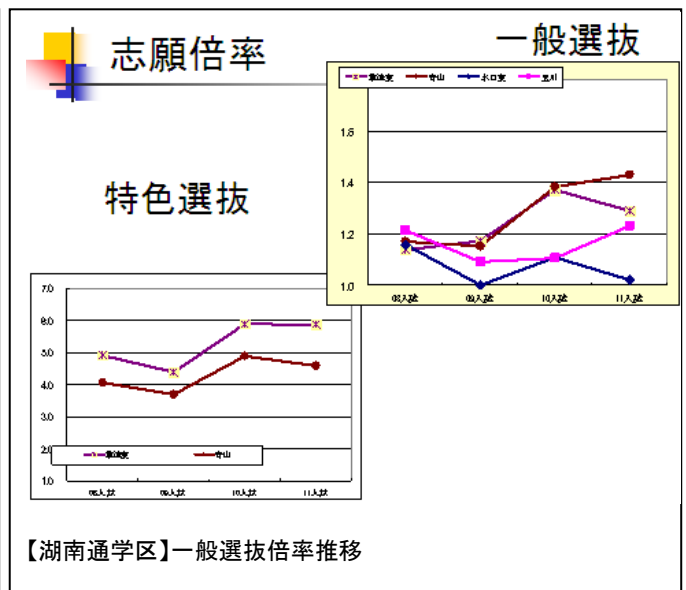
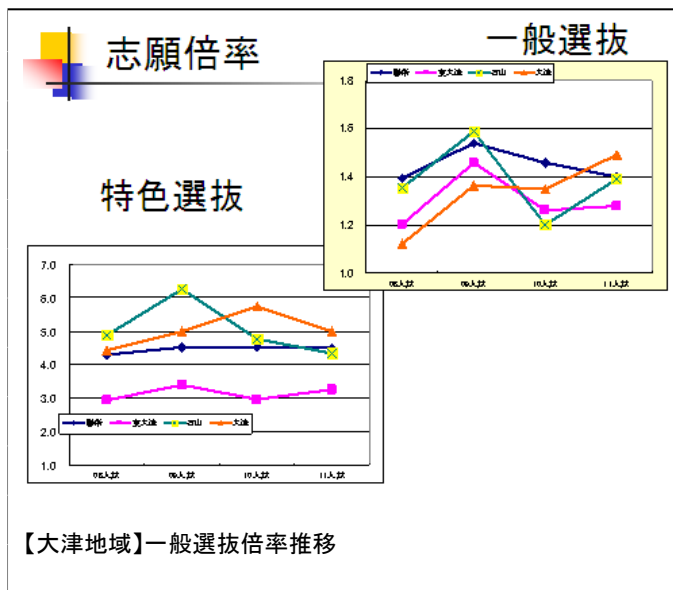


【一般選抜】総受検者数推移

下のグラフをご覧ください。特色選抜と一般選抜での倍率を地域ごとに推移で見ると2つの大きなポイントがわかります。

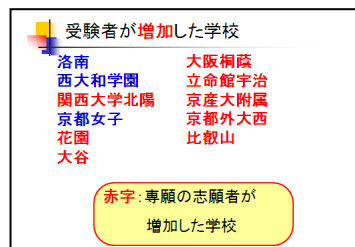
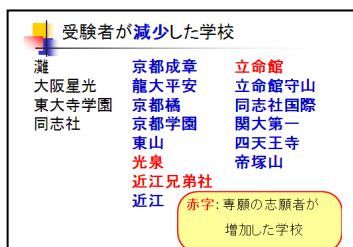
1点目は、大津学区の4校は他地区に比べて志願者が集中しやすく、高倍率で難易度も高くなりやすいということです。

2点目は、特色選抜の倍率推移と一般選抜の倍率推移は似た傾向を示していることです。つまり、特色選抜で倍率の上昇した高校は一般選抜においても倍率が上昇する（難化する）可能性が高くなります。ただし、11年度の**大津**はこの傾向に反して、特色選抜に比べて一般選抜の倍率が例外的に高騰しました。「特色選抜は難しいから受検しないけど、一般選抜では何とか大津高校に合格したい」という受験者層が一定数いるのではと思われます。そのため、**大津**の一般入試不合格者数は膳所に次いで2番目である等、一般入試は高倍率となっています。また、**玉川**は、特色選抜の募集がないことや先程の**大津**と同じく「一般選抜では何とか合格したい受験者層の人気を集めており、一般選抜での倍率が高くなっています。

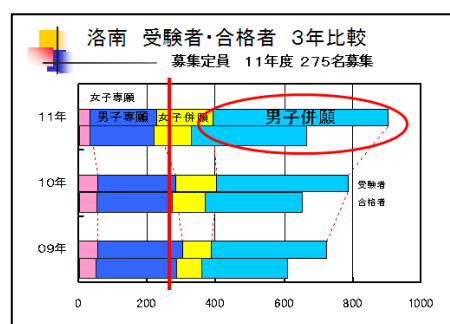


# 私立高校

2011入試は、「私立無償化（大阪府・京都府・兵庫県で実施、所得制限あり）」の影響で、大学附属校や進路指導に力をいれている私立に人気が集まりました。下は受験者が増減した学校です。受験者が減少した学校は、反動で次年度増加する可能性があります。



トピックスとして洛南を取り上げます。右の表は洛南の受験者と合格者の3年比較です。専願受験者数は微減、併願受験者数が増加しているのが見て取れます。併願は受験者数が増加した分合格率が低くなり、特に男子併願は難関となりました。



## 【第一志望が公立高校の人って、どんな私立高校を併願受験している？】

公立高校が第一志望の人は、どの私立を併願受験しているのでしょうか。以下に、11入試で公立高校第一志望の成基学園中3園生が、実際に併願合格した私立の学校をいくつか挙げてみます。あくまで一例ですので、参考程度にしてください。

「膳所 志願者」・・・洛南(Ⅲ類B)、同志社、立命館(MSC/SS)、大谷(バタビア・マスター)、東山(パスカル)、京都女子(Ⅱ類)、東大寺学園、帝塚山(英数)、光泉(Ⅲ類)、比叡山(Ⅲ類)etc

「彦根東 志願者」・・・光泉(Ⅲ類)、比叡山(Ⅲ類)、近江兄弟社(プロミネント)、近江(アカデミー)、立命館守山、洛南(Ⅲ類B)、同志社、立命館(MSC/SS)、京都成章(アカデミーAS)、大谷(バタビア・マスター/コア)、東山(パスカル)、京都女子(Ⅱ類)etc

「堀川 志願者」・・・洛南(Ⅲ類B)、同志社、立命館(MSC)、京都成章(アカデミーAS)、京都産業大学附属(特進)、大谷(バタビア・マスター)、花園(特進A)、東山(パスカル)、京都女子(Ⅱ類)、東大寺学園、西大和学園、帝塚山(英数)、灘、比叡山(Ⅲ類)、立命館守山(フロンティアサイエンス)etc

「嵯峨野・西京 志願者」・・・洛南(Ⅲ類B)、同志社、立命館(MSC/SS/総合)、京都成章(アカデミーAS)、京都産業大学附属(特進)、京都橘(国公立S)、大谷(バタビア・マスター/コア)、花園(特進A)、東山(パスカル)、京都女子(Ⅱ類)、奈良学園、帝塚山(英数/特進/文理)、比叡山(Ⅲ類)、光泉(Ⅲ類)、立命館守山etc

「桃山・山城・洛北・南陽・亀岡・紫野 志願者」・・・京都成章(アカデミーAS)、京都橘(国公立S/英数B)、京都産業大学附属(特進/進学)、花園(特進A/特進B)、東山(パスカル/スーペリア)、龍谷大学付属平安(プログレス/クリエイト)、大谷(バタビア・マスター/コア/インテグラル)、光泉(Ⅱ類)etc

\*次回は、5月30日発信予定です。公立高校入試の基礎知識をお伝えいたします。